

拓殖大学大学院

工学研究科博士前期課程研究指導要領

1. 趣旨

2年間の正規の修業年限内に学位論文を提出し、論文審査に合格し、修士の学位を取得できる研究指導体制を次のように整える。

- (1) 論文指導は、指導教員を主担当として複数の教員で担当し、相互に綿密な連携を取りつつ適切な指導体制を組織する。
- (2) 1年次に研究の目標を明確にして、研究プログラムを決定する。2年次では研究プログラム遂行に関する評価を行い、並行して中間発表会、学会等で研究内容を公表させ、研究指導計画に基づく論文作成指導を行う。
- (3) 所定の単位数修得および修業年限内での論文作成が上記(2)の手順に従って支障なく進行するよう、指導教員が助言と指導を行う。

2. 1年次の研究指導

- (1) 各専門領域に関する専門知識および技術習得の指導
- (2) 先行研究および研究背景の基礎調査の指導
- (3) 研究目的の明確化ならびに研究テーマの設定とテーマに内在する課題設定の指導
- (4) 研究テーマ・課題設定に則った適切な研究方法・実験計画等の指導
- (5) 中間発表会、学会等での公表を想定したプレゼンテーション指導

3. 2年次の研究指導

- (1) 実験・調査および研究成果についての討論
- (2) 修士論文の要旨・目次・章立て・引用・注・図表等の体裁に関する指導

この要領は、平成25年10月30日の研究科委員会にて承認。

以 上

拓殖大学大学院

工学研究科博士後期課程研究指導要領

1. 趣旨

3年間の正規の修業年限内に学位論文を提出し、論文審査に合格し、博士の学位を取得できる研究指導体制を次のように整える。

- (1) 論文指導は、指導教員を主担当として複数の教員で担当し、相互に綿密な連携を取りつつ適切な指導体制を組織する。
- (2) 1年次に研究計画に基づく専門的な知識の評価を行う。2年次では研究指導計画書に基づく遂行に関する評価を行い、3年次は研究指導計画書に基づく論文作成指導を行う。
- (3) 所定の単位数修得および修業年限内での論文作成が上記(2)の手順に従って支障なく進行するよう、指導教員が助言と指導を行う。

2. 1年次の研究指導

- (1) 各専門領域に関するより高度な専門知識および技術習得の指導
- (2) 先行研究および研究背景の調査の指導
- (3) 研究目的の明確化ならびに研究テーマの設定とテーマに内在する課題設定の指導
- (4) 研究テーマ・課題設定に則った適切な研究方法・実験計画等についての討論
- (5) 中間発表会、学会等での公表を想定したプレゼンテーション指導

3. 2年次の研究指導

- (1) 研究テーマ・課題設定に則った適切な研究方法・実験計画等の討論
- (2) 実験・調査結果の分析および考察についての討論
- (3) 学会等での論文発表の指導

4. 3年次の研究指導

- (1) 学会等での論文発表の指導
- (2) 博士論文作成のための討論
- (3) 博士論文作成のための要旨・目次・章立て・引用・注・図表等の体裁に関する指導

この要領は、平成25年10月30日の研究科委員会にて承認。

以 上